

昭和五十一年二月二十五日第3種郵便物許可(毎週4回月、火、木、金曜発行)  
平成二十九年八月十七日発行SSKO通巻九六八八号  
膠原栃木版

 <b>膠原 栃木版</b> <b>No.112</b>	<p>◎編集 <b>全国膠原病友の会</b></p> <p>◎編集責任者 <b>玉木朝子</b></p> <p>〒321-0113 宇都宮市砂田町461</p> <p>☎028-656-2386</p> <p>☎028-656-7260</p>
---	--

## 医療講演及び相談会のご案内

残暑が厳しい毎日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、私ども全国膠原病友の会栃木県支部では毎年各地区において医療講演及び相談会を開催しております。今年は県西地区を中心にと考えまして県西健康福祉センター、今市健康福祉センターのご協力をいただき、下記要項で開催する運びとなりました。私たち難病患者は長い闘病生活のなかで、どう病気と向き合っていかなければならないのか、悩んでしまうことが度々あると思います。今年はこうしたことを踏まえながら合併症の勉強とともに学んでいけたらと考えております。ぜひ皆様方のご出席をお待ちいたしております。

### 記

日時 平成29年10月1日(日) 午前10時より

場所 鹿沼市菊沢コミュニティーセンター  
鹿沼市御成橋町2-2197-1

医療講演 「膠原病と合併症について」  
(合併症を理解し、うまく付合うコツを学びましょう)

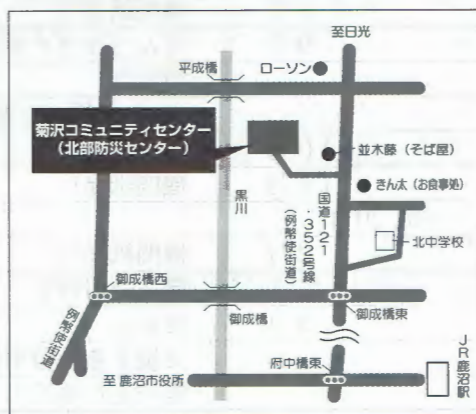
講師 自治医科大学 内科学講座アレルギー膠原病学部門  
付属病院アレルギー・リウマチ科 岩本雅弘先生



生活相談 獨協医科大学地域医療連携センター医療福祉相談室  
医療ソーシャルワーカー 橋本富美子先生

健康科学大学 看護学部 在宅看護学  
教授 熊倉みつ子先生

問合せ 全国膠原病友の会栃木県支部  
宇都宮市砂田町461  
tel. 028-656-2386  
fax. 028-656-7260



## 全国膠原病友の会栃木県支部平成28年度活動報告

宇都宮市砂田町461  
 全国膠原病友の会栃木県支部  
 支部長 玉木 朝子  
 [H28. 4.1 ~ H29. 3.31]

開催日	内 容	会 場
平成28年		
4月24日	バザー品値段付け作業	事務局
4月24日	役員会	事務局
4月30日	福祉祭りバザー参加	オリオン通り
8月 4日	医療相談会打ち合わせ	真岡チャットパレス
8月 9日	医療相談会打ち合わせ	獨協医科大学病院
8月31日	役員会	事務局
8月19日	膠原栃木No.109 発送	事務局
10月 1日	医療講演会及び生活相談会	真岡チャットパレス
10月22日	第13回なんびょうサポートとちぎのつどい	とちぎ健康の森
10月23日	しらさぎ祭りバザー参加	日産自動車栃木工場広場
11月27日	役員会	事務局
12月 9日	膠原栃木No.110 発送	事務局
平成29年		
2月22日	難病連研修会	ホテルニューイタヤ
2月26日	役員会	事務局
2月26日	膠原栃木No.111 発送	事務局

## 全国膠原病友の会栃木県支部平成29年度活動計画

宇都宮市砂田町461  
 全国膠原病友の会栃木県支部  
 支部長 玉木 朝子  
 [H29. 4.1 ~ H30. 3.31]

開催日	内 容	会 場
平成29年		
4月	役員会	事務局
	福祉まつりバザー参加	オリオン通り
8月	機関紙発行	事務局
9月	なんびょうサポートとちぎのつどい	健康の森
	役員会	事務局
	しらさぎまつりバザー参加	日産自動車栃木工場広場
10月	医療相談会	県西地区
11月	機関紙発行	事務局
平成30年		
2月	機関紙発行	事務局
	難病連研修会	
3月	役員会	事務局
	支援する会行事協力	
	難病連行事協力	

## 全国膠原病友の会栃木県支部平成28年度決算報告書

自平成28年4月1日 至平成29年3月31日

### 〔収入の部〕

項目	金額	備考
前年度繰越金	180,362	
会費	147,600	41名
県難連助成金	112,500	
共同募金会助成金	50,000	
医療相談会委託金	110,000	
寄付金	406,200	県職労、全労済、労福協他
その他の収入	100,015	預金利子他
合計	1,106,677	

### 〔支出の部〕

項目	金額	備考
県難連分担金	60,000	
相談会開催費	180,170	第37回医療相談会、研修会
印刷費	357,480	機関紙膠原栃木109号から111号
事務費	12,520	事務費・事務用品代
通信費	36,000	電話代
発送費	58,559	切手代他
活動交通費	74,180	旅費他
会議費	10,000	会場費他
慶弔費	10,000	
事務所維持費	10,542	電気代
本部納入会費	73,800	51名
事務所設備費	50,760	
障定刊分担金	10,000	機関紙発送分
来年度繰越金	162,666	
合計	1,106,677	

上記のとおり相違ありません

平成29年4月9日

宇都宮市砂田町461  
全国膠原病友の会栃木県支部  
支部長 玉木朝子

## 全国膠原病友の会栃木県支部平成29年度予算書

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

### 〔収入の部〕

項目	金額	備考
前年度繰越金	162,666	
会費	205,200	67名
県難連助成金	112,500	
共同募金会助成金	50,000	
医療相談会委託金	110,000	
寄付金	340,000	
その他の収入	100,000	支援する会、他
合計	1,080,366	

### 〔支出の部〕

項目	金額	備考
県難連分担金	60,000	
相談会開催費	200,000	医療相談会、研修会他
印刷費	500,000	機関紙膠原栃木、他
事務費	20,000	事務用品代
通信費	36,000	電話代
発送費	50,000	切手代
活動交通費	50,000	旅費、他
会議費	10,000	会場費、他
慶弔費	20,000	香典、他
事務所維持費	10,000	電気代、他
本部納入会費	102,600	57名
事務所設備費	10,000	
障定刊分担金	10,000	機関紙発送分
予備費	1,766	
合計	1,080,366	

上記のとおり相違ありません。

平成29年4月9日

宇都宮市砂田町461

全国膠原病友の会栃木県支部

支部長 玉木朝子

◆ 全国膠原病友の会 栃木県支部を支援する会 ◆

平成28年度決算報告

自平成28年4月1日

至平成29年3月31日

〈収入の部〉

項目	金額	備考
前年度繰越金	1,031,416	
事業費	292,464	バザー売上
その他	12	利子
合計	1,323,892	

〈支出の部〉

項目	金額	備考
支部助成金	100,000	
事務費	30,000	ホームページ更新手数料
事業費	28,425	バザー経費他
次年度繰越金	1,165,467	
合計	1,323,892	

平成29年度予算案

自平成29年4月1日

至平成30年3月31日

〈収入の部〉

項目	金額	備考
前年度繰越金	1,165,467	
寄付	0	
事業費	200,000	バザー売上他
その他	200	利子他
合計	1,365,667	

〈支出の部〉

項目	金額	備考
支部助成金	100,000	機関紙印刷代助成
事務費	30,000	ホームページ更新料他
事業費	50,000	バザー経費
予備費	1,185,667	
合計	1,365,667	

宇都宮市清任 3-1-14

全国膠原病友の会

栃木県支部を支援する会

会長 藤田勝春

## 難病新法施行3年日の課題

玉木朝子

私は患者団体だけでなく、労働組合等の機関紙に時折原稿を書く機会をいただいている。そして貴重な紙面を通じて難病患者の当事者としての立場から、治らないと宣言され病と共に生きなければならない患者の、日常生活の難しさを社会に訴え、理解してもらえればとの気持ちが強い。健康な方は難病と聞くと特殊な病気と捉え、対岸の火事と思いがちであるが、決してそうではないことを自覚していただきたいと思っている。たとえば現在認定されている特定疾患患者の数は県内で約12,000人である。県内の総人口200万人と考えると167人に1人はいる勘定であるから、大きな会社では相当数いるのではないだろうかと考えられる。そのような想いでこの度も特定疾患330疾患をできるだけ一般の方々の目に触れる機会をつくっていきたいと思っている。

平成27年1月「難病の患者に対する医療等に関する法律」（難病新法）が施行され、3年目を迎えようとしている。その間に特定疾患として該当する疾患は56疾患から330疾患まで間口を広げることができた。（別表参照）昭和47年厚生省から各都道府県に課長通達でだされた「難病対策要綱」がこの制度の始まりである。該当4疾患から始まったことを思えば隔世の感がある。いままで病気と

闘いながら、医療費で苦しんできた方々はぜひこの表を参考にしていただきたいと思っている。長い間患者家族が望んできた法律を制定することができた。しかし新法が施行され3年が経ち、患者の望んでいた方向に施策が進んでいるとはいえない現実があることも事実である。何が問題なのか取り上げてみたい。（経過措置）

経過措置とは平成26年末までに「治療研究対象疾患」として認定され、医療費助成の対象となっていた患者は、27年から29年末まで特例として経過措置がとられ重症度に関係なく認定されていた。しかし今年度で経過措置期限が切れ、現在来年度の更新申請に入っている。疾患によっては重症度認定が厳しく、認定から外されてしまう可能性が高い患者が出てしまうことが危惧されている。軽症と診断され認定されなければ医療費助成から外れるだけでなく、各自治体で実行されている「特定疾患福祉手当」等からも除外され、厳しい状況になってしまう。患者団体では厚労省に対し軽症でも患者である証明として「軽症者登録証」を発行するよう求めているが、当局の反応は鈍く要請を続けている。（軽症高額者）

病気が寛解期に入り「軽症者」と判定されてしまった患者でも毎月の治療は不可欠であ

る。治療を怠らなかつたから寛解期に持つていくことができたと考えるのが妥当である。そうしたことを踏まえ、自己負担が1万円以上の月が年3回以上あれば「軽症高額者」として認定される制度である。しかしこの制度は医療機関及び患者が理解していなければ見逃されてしまう危険を伴っており、関係各機関への周知が求められている。

最後にこの度の新法施行で間口は確かに広がった。しかし疾患ごとの認定が重症度をクリアしなければ認められないという、長く治療を続けている患者にとっては厳しい状況をつくってしまったことは事実である。私たち患者団体はこうしたことを丁寧に踏襲しながら、安心して治療が受けられる社会を目指していきたいと考えている。

## 難病の患者に対する医療等に関する法律第5条第1項に規定する指定難病

（1～110は平成27年1月から、111～306は同年7月から、307～330は平成29年4月から医療費助成を開始）

番号	病名	番号	病名
1	球脊髄性筋萎縮症	28	全身性アミロイドーシス
2	筋萎縮性側索硬化症	29	ウルリッヒ病
3	脊髄性筋萎縮症	30	遠位型ミオパチー
4	原発性側索硬化症	31	ベスレムミオパチー
5	進行性核上性麻痺	32	自己貪食空胞性ミオパチー
6	パーキンソン病	33	シュワルツ・ヤンペル症候群
7	大脳皮質基底核変性症	34	神経線維腫症
8	ハンチントン病	35	天疱瘡
9	神経有棘赤血球症	36	表皮水疱症
10	シャルコー・マリー・トゥース病	37	膿疱性乾癬（汎発型）
11	重症筋無力症	38	スティーヴンス・ジョンソン症候群
12	先天性筋無力症候群	39	中毒性表皮壊死症
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	40	高安動脈炎
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	41	巨細胞性動脈炎
15	封入体筋炎	42	結節性多発動脈炎
16	クロウ・深瀬症候群	43	顕微鏡的多発血管炎
17	多系統萎縮症	44	多発血管炎性肉芽腫症
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症
19	ライソゾーム病	46	悪性関節リウマチ
20	副腎白質ジストロフィー	47	バージャー病
21	ミトコンドリア病	48	原発性抗リン脂質抗体症候群
22	もやもや病	49	全身性エリテマトーデス
23	プリオン病	50	皮膚筋炎／多発性筋炎
24	亜急性硬化性全脳炎	51	全身性強皮症
25	進行性多巣性白質脳症	52	混合性結合組織病
26	HTLV-1関連脊髄症	53	シェーグレン症候群
27	特発性基底核石灰化症	54	成人スチル病

番号	病名	番号	病名
55	再発性多発軟骨炎	101	腸管神経節細胞僅少症
56	ベーチェット病	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群
57	特発性拡張型心筋症	103	CFC 症候群
58	肥大型心筋症	104	コステロ症候群
59	拘束型心筋症	105	チャージ症候群
60	再生不良性貧血	106	クリオピリン関連周期熱症候群
61	自己免疫性溶血性貧血	107	全身型若年性特発性関節炎
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	108	TNF 受容体関連周期性症候群
63	特発性血小板減少性紫斑病	109	非典型溶血性尿毒症症候群
64	血栓性血小板減少性紫斑病	110	ブラウ症候群
65	原発性免疫不全症候群	111	先天性ミオパチー
66	Ig A 腎症	112	マリネスコ・シェーグレン症候群
67	多発性嚢胞腎	113	筋ジストロフィー
68	黄色靱帯骨化症	114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群
69	後縦靱帯骨化症	115	遺伝性周期性四肢麻痺
70	広範脊柱管狭窄症	116	アトピー性脊髄炎
71	特発性大腿骨頭壊死症	117	脊髄空洞症
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	118	脊髄髄膜瘤
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	119	アイザックス症候群
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	120	遺伝性ジストニア
75	クッシング病	121	神経フェリチン症
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	122	脳表ヘモジデリン沈着症
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症
78	下垂体前葉機能低下症	124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症
80	甲状腺ホルモン不応症	126	ペリー症候群
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	127	前頭側頭葉変性症
82	先天性副腎低形成症	128	ビッカースタッフ脳幹脳炎
83	アジソン病	129	痙攣重積型（二相性）急性脳症
84	サルコイドーシス	130	先天性無痛無汗症
85	特発性間質性肺炎	131	アレキサンダー病
86	肺動脈性肺高血圧症	132	先天性核上性球麻痺
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	133	メビウス症候群
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	134	中隔視神経形成異常症 / ドモルシア症候群
89	リンパ脈管筋腫症	135	アイカルディ症候群
90	網膜色素変性症	136	片側巨脳症
91	バッド・キアリ症候群	137	限局性皮質異形成
92	特発性門脈圧亢進症	138	神経細胞移動異常症
93	原発性胆汁性肝硬変	139	先天性大脳白質形成不全症
94	原発性硬化性胆管炎	140	ドラベ症候群
95	自己免疫性肝炎	141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん
96	クローン病	142	ミオクロニー欠神てんかん
97	潰瘍性大腸炎	143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん
98	好酸球性消化管疾患	144	レノックス・ガスター症候群
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	145	ウエスト症候群
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	146	大田原症候群



番号	病名	番号	病名
147	早期ミオクロニー脳症	193	ブラダー・ウィリ症候群
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	194	ソトス症候群
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	195	ヌーナン症候群
150	環状20番染色体症候群	196	ヤング・シンプソン症候群
151	ラスムッセン脳炎	197	1p36欠失症候群
152	PCDH19関連症候群	198	4p欠失症候群
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	199	5p欠失症候群
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群
155	ランドウ・クレフナー症候群	201	アンジェルマン症候群
156	レット症候群	202	スミス・マギニス症候群
157	スタージ・ウェーバー症候群	203	22q11.2欠失症候群
158	結節性硬化症	204	エマヌエル症候群
159	色素性乾皮症	205	脆弱X症候群関連疾患
160	先天性魚鱗癬	206	脆弱X症候群
161	家族性良性慢性天疱瘡	207	総動脈幹遺残症
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	208	修正大血管転位症
163	特発性後天性全身性無汗症	209	完全大血管転位症
164	眼皮膚白皮症	210	単心室症
165	肥厚性皮膚骨膜炎	211	左心低形成症候群
166	弾性線維性仮性黄色腫	212	三尖弁閉鎖症
167	マルファン症候群	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症
168	エーラス・ダンロス症候群	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症
169	メンケス病	215	ファロー四徴症
170	オクシピタル・ホーン症候群	216	両大血管右室起始症
171	ウィルソン病	217	エプスタイン病
172	低ホスファターゼ症	218	アルポート症候群
173	VATER症候群	219	ギャロウェイ・モワト症候群
174	那須・ハコラ病	220	急速進行性糸球体腎炎
175	ウィーバー症候群	221	抗糸球体基底膜腎炎
176	コフィン・ローリー症候群	222	一次性ネフローゼ症候群
177	有馬症候群	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎
178	モワット・ウィルソン症候群	224	紫斑病性腎炎
179	ウィリアムズ症候群	225	先天性腎性尿崩症
180	ATR-X症候群	226	間質性膀胱炎（ハンナ型）
181	クルーゾン症候群	227	オスラー病
182	アペール症候群	228	閉塞性細気管支炎
183	ファイファー症候群	229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）
184	アントレー・ビクスラー症候群	230	肺胞低換気症候群
185	コフィン・シリス症候群	231	$\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症
186	ロスモンド・トムソン症候群	232	カーニー複合
187	歌舞伎症候群	233	ウォルフラム症候群
188	多脾症候群	234	ベルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）
189	無脾症候群	235	副甲状腺機能低下症
190	鰓耳腎症候群	236	偽性副甲状腺機能低下症
191	ウェルナー症候群	237	副腎皮質刺激ホルモン不応症
192	コケイン症候群	238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症

番号	病名	番号	病名
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	285	ファンコニ貧血
240	フェニルケトン尿症	286	遺伝性鉄芽球性貧血
241	高チロシン血症1型	287	エプスタイン症候群
242	高チロシン血症2型	288	自己免疫性出血病 XIII
243	高チロシン血症3型	289	クロンカイト・カナダ症候群
244	メープルシロップ尿症	290	非特異性多発性小腸潰瘍症
245	プロピオン酸血症	291	ヒルシユスプルング病(全結腸型又は小腸型)
246	メチルマロン酸血症	292	総排泄腔外反症
247	イソ吉草酸血症	293	総排泄腔遺残
248	グルコーストランスポーター1欠損症	294	先天性横隔膜ヘルニア
249	グルタル酸血症1型	295	乳幼児肝巨大血管腫
250	グルタル酸血症2型	296	胆道閉鎖症
251	尿素サイクル異常症	297	アラジール症候群
252	リジン尿性蛋白不耐症	298	遺伝性膵炎
253	先天性葉酸吸収不全	299	嚢胞性線維症
254	ポルフィリン症	300	I g G 4 関連疾患
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	301	黄斑ジストロフィー
256	筋型糖原病	302	レーベル遺伝性視神経症
257	肝型糖原病	303	アッシャー症候群
258	ガラクトースー1ーリン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	304	若年発症型両側性感音難聴
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	305	遅発性内リンパ水腫
260	シトステロール血症	306	好酸球性副鼻腔炎
261	タンジール病	307	カナバン病
262	原発性高カイロミクロン血症	308	進行性白質脳症
263	脳髄黄色腫症	309	進行性ミオクローヌスてんかん
264	無βリポタンパク血症	310	先天異常症候群
265	脂肪萎縮症	311	先天性三尖弁狭窄症
266	家族性地中海熱	312	先天性僧帽弁狭窄症
267	高I g D症候群	313	先天性肺静脈狭窄症
268	中條・西村症候群	314	左肺動脈右肺動脈起始症
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症
270	慢性再発性多発性骨髄炎	316	カルニチン回路異常症
271	強直性脊椎炎	317	三頭酵素欠損症
272	進行性骨化性線維異形成症	318	シトリン欠損症
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症
274	骨形成不全症	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症
275	タナトフォリック骨異形成症	321	非ケトーシス型高グリシン血症
276	軟骨無形成症	322	β-ケトチオラーゼ欠損症
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	323	芳香族L-アミノ酸炭酸酵素欠損症
278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	324	メチルグルタコン酸尿症
279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	325	遺伝性自己炎症疾患
280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	326	大理石骨病
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)
282	先天性赤血球形成異常性貧血	328	前眼部形成異常
283	後天性赤芽球癆	329	無虹彩症
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	330	先天性気管狭窄症

## 第14回 なんびょうサポートとちぎのつどいを開催します

(参加費無料)

難病を広く県民の皆様にご存知いただくと同時に、患者・家族同士の相互理解を深める場として今年度も開催します!

当日は、午前中の医療相談会・交流会をはじめ、午後は参加者の皆様楽しんでいただける内容となっております。

開催日：平成29年9月9日(土)

会場：とちぎ健康の森(宇都宮市駒生町3337-1)

○医療相談会(神経系疾患)(消化器系疾患) ○就労相談 ○生活福祉相談 ○栄養相談

難病で治療中の方や御家族の方の相談をお受けします。(各相談 先着5名まで 要予約)

○交流会 患者同士だから話せる悩みや不安を、おしゃべりしましょう。

○午後の部 講演会、コンサート

※参加希望の方は、事前に電話・FAX等でお申し込み下さい。

主催：相談支援センター 電話028-623-6113 ファックス028-623-6110

## ヘルプマークをご存じですか?



ヘルプマーク

### ヘルプマークとは…

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、東京都が作成したマークです。栃木県でも平成29年8月1日(火)からこのマークを導入し、合理的配慮を促す一助となるよう普及に取り組んでいきます。

### 配布対象者は?

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としている方となります。

### ヘルプマークをつけた方を見かけたら…

**電車・バスの中で、席をお譲りください。**

外見では健康に見えても、疲れやすかったり、つり革につかまり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。また、外見からは分からないため、優先席に座っていると不審な目で見られ、ストレスを受けることがあります。

**駅や商業施設等で、声をかけるなどの配慮をお願いします。**

交通機関の事故等、突発的な出来事に対して臨機応変に対応することが困難な方や、立ち上がる、歩く、階段の昇降などの動作が困難な方がいます。

**災害時は、安全に避難するための支援をお願いします。**

視覚障害者や聴覚障害者等の状況把握が難しい方、肢体不自由者等の自力での迅速な避難が困難な方がいます。

問い合わせ先：栃木県保健福祉部障害福祉課 社会参加促進担当

電話 028-623-3053



## バザーご報告



今年も沢山の皆様、ご協力ありがとうございました。1年間かけて事務局の倉庫に集められた品物、感謝に堪えません。

4月の22日は事務局での値付け、町内の方が毎年来てくださいます。恒例になっていることもあり、赤飯の差入れや片付けの手伝いまでしていただきます。継続は力なりの想いを強くした次第です。4月29日は本番、オリオン通りでは道行く人たちを相手に頑張りました。2回の売上げ総額220,584円になりました。ボランティアの方々の平均年齢が上がるなか、大変なことも多いですが貴重な資源を無駄にしないよう今年も頑張りたいと思っています。又、秋の恒例になっております、日産栃木工場「しらさぎ祭り」への出店も計画しています。（10月の22日です。）ご都合のつく方はぜひ遊びに来ていただければと思います。



### ご寄付お礼

- |        |           |
|--------|-----------|
| 幸田 道子様 | 那須塩原市     |
| 福田マサ子様 | 日光市       |
| 佐藤 英智様 | 那須高原クリニック |
| 満川 博美様 | 鹿沼市       |
| 匿名様    |           |